

講座の記録

☆2022年2月10日「承久の乱と北条義時」

講師：長村祥知 先生（富山大学講師）

※2022年現在、NHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』の時代考証を務められています。

富山から遠路はるばるお越し下さいました。

場所：なるお文化ホール 出席人数：182名

講座のご評価：「本日の講座はお客様が期待するようなものでしたか。」という問いに

①「あてはまる」126名（77%）、②「どちらかといえばあてはまる」35名（21%）、③「どちらかといえばあてはまらない」2名（1%）、④「あてはまらない」0名（%）、評価記入なしが19名でした。

講座の概要：放映中のNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』にちなんで、明治時代までの武家政権の優位性を決定づけたとされる「承久の乱」と、北条氏の台頭などについて詳しくお話を伺いました。承久の乱の発端は、従来説明されていたような「後鳥羽上皇 vs 鎌倉幕府」といった対立図式にはあてはまらないという目からウロコな見解、また関連する漢文の古文書を読むというハイレベルな内容から、貴重な物品の画像を見せていただいたりなど、多彩な内容でした。

お客様の声

『今まで承久の乱のことは歴史の時間で習ったことはありましたが、深く内容までは知ることはありませんでした。今日、時代を経て教えていただき、よく理解できました。全ての内容においてよく分り、今後テレビで放送を見るのが大変楽しみになりました。ありがとうございました。』『大変勉強になりました。①日本の中世、特に鎌倉幕府の内容、位置付けがよく理解できました。②御家人仲間の中での北条氏の不安定な位置関係が強い権力になっていく過程がよく分りました。しっかりと勉強を続けていきたいと思いました。（地味な努力は必ず報われるものですね）』